

- 問1 インドネシアは21世紀以降、漁獲量を急激に増加させ、2022年には約1200万トンに達しています。このようにインドネシアで漁業が大きく発展した背景にある、この国の地理的な特徴を説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 広大な大陸棚を流れる長大な河川が多く、淡水魚の漁獲が中心であること | 2. 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域 (EEZ) を保有していること | 3. フィヨルドと呼ばれる複雑な海岸線により、波の静かな養殖の適地が多いこと | 4. アンデス山脈からの栄養分が流れ込む、寒流の影響を強く受けた海域であること |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問2 東南アジア諸国の経済統計において、2000年から2018年にかけて進出日本企業数が急増し、主な輸出相手国としてアメリカ、中国、日本をバランスよく持つ国の特徴として正しいものはどれですか。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 人口が東南アジアで最も多いため、輸出よりも国内の旺盛な消費が経済成長の最大の要因となっている。 | 2. 一人当たりの国内総生産がすでにマレーシアやタイを大きく上回っており、労働集約的な産業から知識集約的な産業へ完全に移行している。 | 3. 輸出の大部分を原油や天然ガス、天然ゴムなどの一次産品が占めており、工業製品の輸出はほとんど行われていない。 | 4. ドイモイ政策による経済開放を背景に、工業化が進んで日本への輸出も拡大し、経済成長を続けている。 |
|--|--|--|--|
- 問3 インドネシア、タイ、ベトナムなどの国々が位置する地域において、加盟国間の経済成長や地域の安定を目的として結成された「地域協力」の組織を何と呼びますか。正しい名称を選択してください。 (2022年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 東南アジア諸国連合 | 2. 主要20か国・地域会議 | 3. 国際連合教育科学文化機関 | 4. アジア太平洋経済協力会議 |
|--------------|----------------|-----------------|-----------------|
- 問4 アジア諸国間の経済・文化交流を促進するために計画された、日本の東京からトルコまでを繋ぐ「アジアハイウェイ1号線」の概要を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. かつてのシルクロードの航路を忠実に再現した、海上における物流ルート | 2. 東南アジアや南アジアなどの広域を網羅する、アジアを横断する幹線道路網 | 3. ASEAN (東南アジア諸国連合) の加盟国間のみを接続する高速鉄道網 | 4. 東アジアの島国と内陸国をトンネルだけで結ぶ、地下交通のネットワーク |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問5 2019年時点の世界の貿易統計において、輸出上位5品目に機械類のほか、ダイヤモンドや医薬品といった高度な加工を伴う工業製品、および石油製品が含まれている国として正しいものを次の中から選びなさい。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|----------|------------|
| 1. インド | 2. 中国 | 3. マレーシア | 4. サウジアラビア |
|--------|-------|----------|------------|
- 問6 中国がシェンチェン (深セン) などの沿海部の都市を経済特区に指定し、外国企業の進出を促した理由として最も適切な説明はどれか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 自国の伝統的な産業を保護するために、関税を高く設定して輸入を抑制するため | 2. 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため | 3. 公営企業の経営を安定させるために、外国製品の流入を制限するため | 4. 内陸部の農村地帯に工業を分散させ、地域間の格差を解消するため |
|---|-------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問7 中国では1970年代から人口爆発を抑制するために「一人っ子政策」が実施されましたが、その後の統計において出生率が長期的に下降し続け、現在は非常に低い水準となっています。この状況が中国の将来に及ぼす、最も深刻な社会的問題として適切なものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-------------|------------------|------------------|
| 1. 都市人口の過度な集中 | 2. 平均寿命の短縮化 | 3. 少子高齢化による労働力不足 | 4. 死亡率の上昇による人口急減 |
|---------------|-------------|------------------|------------------|
- 問8 中国において、1970年代末から始まった経済改革の一環として、外国の資本や技術を導入するためにシェンチェン (深圳) などの沿海部に設置された地域を何と呼びますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|----------|-------|
| 1. 経済特区 | 2. 自治区 | 3. 特別行政区 | 4. 租界 |
|---------|--------|----------|-------|
- 問9 タイやインドネシアなどのASEAN加盟国では、近年、急速に工業化が進んでいる。その背景として、この地域で行われてきた取り組みや特徴を説明したものととして最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|-------------------------------------|--|
| 1. 豊富な労働力や安価な賃金を背景に、海外からの企業の工場を積極的に誘致した。 | 2. 天然ゴムや原油などの特定の原料のみを輸出するモノカルチャー経済を強化した。 | 3. ヨーロッパ諸国のような単一通貨を導入し、域外との貿易を制限した。 | 4. 加盟国間での労働力の移動や輸出入を完全に禁止し、自国の産業のみを保護した。 |
|--|--|-------------------------------------|--|
- 問10 インドでは近年、ICT (情報通信技術) 産業が急速に発展し、国の経済成長をけん引しています。この背景にあるインドの社会的な特徴や強みについて述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 広大な国土で採掘される豊富な原油や鉄鉱石の輸出を主な財源とし、それをもとにハイテク産業への投資を行っている。 | 2. 公用語の一つである英語や、高度な数学教育の普及を活かし、ソフトウェア開発などのサービスを世界中に提供している。 | 3. 世界最大の人口による安価な労働力を最大限に活かし、衣類や日用雑貨などの労働集約的な軽工業を成長の柱としている。 | 4. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) の中心メンバーとして域内の関税を撤廃し、周辺諸国との自由貿易によって工業化を進めている。 |
|---|--|--|---|
- 問11 近年のアジアにおける自動車保有台数の変化と、その背景にある社会状況についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. アジア各国では環境規制の強化により、2010年代後半からインドを含むすべての国で自動車保有台数が減少に転じている。 | 2. 日本などの先進国では若者の車離れにより保有台数が2010年から半減しており、アジアの自動車市場はインド一極集中となっている。 | 3. インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。 | 4. インドの人口あたりの自動車保有台数が日本の水準を上回ったことで、アジアにおける自動車の普及は飽和状態に達した。 |
|--|---|--|--|
- 問12 世界の農業において、主要な穀物である米の生産が最も盛んであり、世界全体の生産量の約9割 (90%) を占めている州はどこですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. アジア州 | 2. 北アメリカ州 | 3. 南アメリカ州 | 4. アフリカ州 |
|---------|-----------|-----------|----------|
- 問13 あるアジアの国では、人口密度が1平方キロメートルあたり約144人であり、輸出品目の第1位が機械類で、全体の4割以上を占めています。この国の産業や経済の状況を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 国内に豊富な石炭資源を持ち、それを主なエネルギー源および輸出品として活用している | 2. 高度な技術力を背景に、自動車や電子機器などの工業製品を主力として輸出している | 3. 広大な土地を利用した米の生産が盛んで、世界最大級の米の輸出拠点となっている | 4. 農業を主な産業とし、コーヒーや天然ゴムなどの特定の農産物の輸出に依存している |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 数多くの島々で構成される広大な排他的経済水域（EEZ）を保有していること	インドネシアは世界最多級の島々を持つ群島国家であり、それぞれの島を基点とした非常に広大な排他的経済水域（EEZ）を有しています。この広大な海域と、赤道直下の豊かな海洋資源を有効に活用するための整備が進んだことが、近年の漁獲量急増の大きな要因となっています。なお、ペルーなどで見られる寒流による好漁場や、ノルウェーなどのフィヨルドといった他国の特徴と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 4 ドイモイ政策による経済開放を背景に、工業化が進んで日本への輸出も拡大し、経済成長を続けている。	ベトナムはドイモイ政策によって経済を開放し、1990年代後半から2000年代にかけて急速な工業化を遂げました。この過程で、地理的に近く、かつ質の高い労働力を確保できることから日本企業の進出が相次ぎました。統計上、タイやインドネシアと比較しても2000年以降の進出企業数の伸び率が非常に高い点が特徴です。また、輸出相手国が特定の1カ国に偏らず、アメリカ、中国、日本という巨大な市場をバランスよく持っていることも安定した経済成長の要因となっています。
問3	答え 1 東南アジア諸国連合	この組織は1967年に結成され、アルファベットではASEANと表記されます。東南アジアの国々が協力し合うことで、経済的な発展だけでなく、紛争の回避や政治的な安定を図ることを大きな目的としています。冷戦期の対立を背景に誕生しましたが、現在は域内の関税撤廃などを進める経済共同体としての側面も強めています。
問4	答え 2 東南アジアや南アジアなどの広域を網羅する、アジアを横断する幹線道路網	アジアハイウェイ1号線は、アジア30か国以上をネットワーク化する広域的な幹線道路網の一部です。日本を起点に、韓国、中国、ベトナム、タイといった東南アジア、ミャンマーやインドなどの南アジア、そしてイランやトルコといった西アジアまで、アジア大陸を横断するように各国を道路で結ぶ構想であり、物流や経済交流の活性化を目的としています。
問5	答え 1 インド	インドは近年、急速な工業化と技術革新を背景に、伝統的な農産物や繊維製品の輸出から、医薬品や化学製品、ダイヤモンド加工といった高付加価値な工業製品の輸出へと構造が変化しています。サウジアラビアは原油の輸出が圧倒的な割合を占め、中国はパソコンや携帯電話などの機械類の割合が非常に高いという特徴があるため、これらと区別する必要があります。
問6	答え 2 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため	中国は経済特区において、所得税の減免や行政手続きの簡素化といった優遇措置を外国企業に提供しました。これにより、先進的な生産技術や豊富な外資を効率的に取り込み、遅れていた工業化と経済成長を急速に進める狙いがありました。
問7	答え 3 少子高齢化による労働力不足	長年にわたる一人っ子政策の結果、出生率が大幅に低下したことで、将来的に現役世代が減り、高齢者の割合が高まる「少子高齢化」が深刻化しています。これにより、経済成長を支えてきた豊富な労働力が不足することが、中国経済にとっての大きな懸念材料となっています。このため、近年では一人っ子政策が廃止され、出産を奨励する方針に転換されています。
問8	答え 1 経済特区	外国企業の誘致を目的として、特定の地域に限定して税金の優遇や規制の緩和を行ったエリアを「経済特区」と呼びます。1980年にシェンチェン、アモイ、スワトウ、チュハイの4カ所が指定されたのを皮わりとして、沿海部を中心に整備が進められました。これにより中国は市場経済を導入し、飛躍的な経済発展を遂げることとなりました。
問9	答え 1 豊富な労働力や安価な賃金を背景に、海外からの企業の工場を積極的に誘致した。	多くのASEAN諸国は、かつては農産物や鉱産資源の輸出に依存していましたが、外資系企業の誘致を進めることで「世界の工場」としての地位を築きました。特に安価で豊富な労働力を活用した機械工業や自動車産業の発展が目立っています。一方で、経済発展に伴い、加盟国間の経済格差の是正が現在の重要な課題となっています。
問10	答え 2 公用語の一つである英語や、高度な数学教育の普及を活かし、ソフトウェア開発などのサービスを世界中に提供している。	インドはかつてイギリスの植民地であった背景から英語が公用語の一つとなっており、欧米企業とのビジネスが円滑に行える強みがあります。また、伝統的に数学教育の水準が高く、優秀なIT技術者を多数輩出していることが、ICT産業の発展や経済成長の大きな要因となっています。石油などの資源輸出に頼る経済構造ではなく、サービス業や高度な技術力が強みです。また、インドは南アジアに位置するため、ASEAN（東南アジア諸国連合）には加盟していません。
問11	答え 3 インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。	世界の産業と人口の動向を見ると、アジアは経済成長の核となっており、それに伴い自動車保有台数も大きく変化しています。インドに代表される新興国では、所得の増加により自動車を手にする世帯が爆発的に増え、短期間で台数が倍増する現象が見られます。しかし、「人口あたりの台数」という指標で比較した場合、人口規模が非常に大きいインドや中国に対し、日本は人口に対する普及の割合が依然として高く、先進国としての特徴を保っています。このように、総数としての「勢い」と、人口比としての「普及度」の違いを理解することが重要です。
問12	答え 1 アジア州	世界の米の生産量は、中国やインド、インドネシアなどが位置するアジア州に圧倒的に集中しています。アジア州は世界の生産量全体の約90%を占めています。
問13	答え 2 高度な技術力を背景に、自動車や電子機器などの工業製品を主力として輸出している	人口密度が100人を超え、機械類の輸出が非常に高い割合を占めるのは、韓国などの東アジアの工業国の特徴です。これらの国々は、原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する加工貿易を通じて経済を発展させてきました。選択肢にある「米の輸出」や「石炭の輸出」は、この統計データの国（韓国付近）の特徴とは一致しません。

- 問1 1970年代末から始まった中国の経済政策において、外国企業の資本や技術を取り入れるために沿海部に「経済特区」や「経済技術開発区」が設けられました。この政策がもたらした国内の状況の変化として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 内陸部の豊かな資源を有効活用するために外国企業が優先的に内陸へ配置され、農村部の所得が都市部を上回った。
 2. 沿海部で工業化が進み経済が急速に発展した一方で、開発が遅れた内陸部との間に大きな経済格差が生じた。
 3. 外国企業の進出を特定の港湾都市のみに限定したため、国内の産業構造は変化せず、伝統的な農業中心の社会が維持された。
 4. 中国全土に均等に開発区を配置したことにより、沿海部と内陸部の経済発展のスピードが統一され、地域間の格差は解消された。
- 問2 中国の人口構成に関する統計において、1950年から2014年にかけて年少人口の割合が約半分以上に減少した一方で、老年人口の割合が約2倍に増加している傾向が見られます。このような状態を表す用語と、それに関連して中国で見直された政策の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 少子高齢化 — 一人っ子政策の見直し
 2. 所得格差 — 経済特区の設置
 3. 過疎化 — 西部大開発の実施
 4. 人口爆発 — 一人っ子政策の導入
- 問3 2015年時点の工業製品の生産統計において、カラーテレビの世界シェアが約47%、スマートフォンが約80%、パソコンが約98%という圧倒的な数値を記録している国について、その背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. ソビエト連邦の崩壊後、市場経済を導入することで急速に工業化が進み、特に情報通信機器の分野で高い技術力を獲得した。
 2. 太平洋沿岸の好立地を活かして加工貿易を推進し、原材料の輸入から製品の輸出までを一貫して行うことで生産シェアを拡大させた。
 3. 世界最大の人口を背景とした豊富な労働力を活用し、高度な工業化を推進した結果、電子機器の分野で世界的な供給源となった。
 4. 広大な国土を活かした資源採掘と、欧米文化の影響を受けた新しい産業の創出により、パソコンやスマートフォンなどの製造に特化した。
- 問4 地理的な距離の近さや工業製品の生産力の高さを背景として、中国から日本への輸出額は約19兆円に達しています。この状況を説明する背景として、最も適切な内容を選択してください。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
1. 日本の多くの企業が生産拠点を移転し、現地で製造された製品を日本へ逆輸入する仕組みが整っているため。
 2. 広大な国土で生産される鉄鉱石などの鉱産資源が、日本の重化学工業を支える主要な原料となっているため。
 3. 日本との間に自由貿易協定が締結されたことで、全ての農産物に対する関税が完全に撤廃されたため。
 4. 広大な農地を活用した大規模農業により、小麦やトウモロコシなどの穀物を低価格で大量に日本へ供給しているため。
- 問5 中国の経済発展と、それに伴って発生した課題について述べた文章として、最も適切なものを選びなさい。なお、この文章には工業化の進展とエネルギー消費の関係が含まれています。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
1. 工業化による土地不足を補うため、内陸部の砂漠を農地に作り変えたことで、大規模な塩害が発生している。
 2. 西部の内陸部を中心に開発が進んだ結果、沿海部との格差が解消され、全国的に人口が減少している。
 3. 外国企業の撤退により工業化が停滞したため、現在は農業を中心とした循環型社会への移行が進んでいる。
 4. 急速な工業化を支えるために石炭燃料が大量に消費され、その結果として深刻な大気汚染が発生している。
- 問6 東南アジアの大陸部と島嶼部の特徴を整理した際、ベトナムやタイなどが位置する「インドシナ半島」の説明として、最も適切な記述を選択してください。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. 大陸部からさらに南へ細長く突き出した半島で、マレーシアやタイの一部が含まれる地域である。
 2. ユーラシア大陸の西端に位置し、地中海に囲まれた温暖な気候が特徴の地域である。
 3. 中国の南側に位置する広大な半島で、メコン川などの大河が流れ、古くから稲作が盛んに行われてきた地域である。
 4. 北アメリカ大陸の北東に位置する世界最大の島で、大部分が氷に覆われている地域である。
- 問7 インドの宗教文化と人々の生活に関する記述として、最も適切な内容を選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教徒は牛を神聖な動物として扱うため、ガンジス川の周辺で大規模な牛の放牧を行い、その食肉を輸出の主力としている。
 2. ヒンドゥー教を信仰する人々は、ガンジス川を神聖なものと考え、その流域で儀式的な入浴を行い罪を洗い流すと信じている。
 3. 国民の多くが仏教を信仰しているため、東南アジアを流れるメコン川を聖なる場所として巡礼する習慣がある。
 4. イスラム教が最も広く信仰されているため、ガンジス川のほとりにあるモスクに集まり、毎日集団で沐浴を行う。
- 問8 ロシアやオーストラリアにとって、中華人民共和国が最大の輸出相手国となっている主な理由として、地理的・経済的背景から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 広域な自由貿易圏を形成したことで、農産物の輸出入に関わる関税が他国に比べて低くなったため
 2. 急速な工業化が進んだことで、製造業に必要な鉄鉱石やエネルギー資源の需要が大幅に増加したため
 3. 情報通信技術の発展により、国内での資源採掘が全面的に禁止され、100%輸入に頼る方針に転換したため
 4. サービス業の発展により周辺諸国からの労働力供給が急務となり、資源と引き換えに労働者を受け入れているため
- 問9 中国では、急速な経済成長に伴ってエネルギー資源の需給バランスが変化しています。2010年には101%であった石炭の自給率が、2014年には94%まで低下した主な要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 深刻な環境汚染を解決するために、石炭の国内生産量を2010年以前よりも大幅に削減した。
 2. 太陽光や風力などの再生可能エネルギーへの転換が進み、石炭の生産量と消費量がともに激減した。
 3. 国内の石炭資源が枯渇して生産量がゼロに近づいたため、必要な全量を輸入に頼るようになった。
 4. 石炭の国内生産量は増加していたが、経済発展による石炭の消費量の伸びが生産量を上回るようになった。
- 問10 1980年代のタイでは衣類などの軽工業品が、マレーシアでは原油などの一次産品が主要な輸出品でしたが、2019年の統計では両国ともに共通の品目が輸出額の第1位となっています。急速な工業化によって輸出構造が高度化したことを示す、現在の両国における最大の輸出品目として正しいものを次の中から選んでください。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 小麦
 2. 機械類
 3. 綿花
 4. 羊毛
- 問11 インドの宗教構成について、人口統計の傾向を正しく説明しているものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 仏教の発祥地であるため、現在でも人口の約80パーセントが仏教徒である
 2. 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、イスラム教徒が約14パーセントでそれに次いでいる
 3. 世界全体での割合が約7パーセントである仏教が、インド国内においても過半数を占めている
 4. イスラム教徒が最も多く、次いで仏教徒が人口の約14パーセントを占めている

答え合わせ・解説

問1	答え 2 沿海部で工業化が進み経済が急速に発展した一方で、開発が遅れた内陸部との間に大きな経済格差が生じた。	中国では「改革開放」政策のもと、地理的に輸出入に有利な東部の沿海部に経済特区などを設置し、税制上の優遇措置などを与えることで外国企業を誘致しました。これにより沿海部は「世界の工場」と呼ばれるほど急成長しましたが、一方で投資やインフラ整備が遅れた内陸部との間で、所得や生活水準の大きな「経済格差」が生まれることとなりました。
問2	答え 1 少子高齢化 ― 一人っ子政策の見直し	年少人口の割合が減少し、老年人口の割合が増加する現象は「少子高齢化」と呼ばれます。中国ではかつて爆発的な人口増加を抑えるために「一人っ子政策」を導入していましたが、少子高齢化の急速な進展によって労働力不足などの弊害が予測されるようになったため、この政策は見直されることとなりました。
問3	答え 3 世界最大の人口を背景とした豊富な労働力を活用し、高度な工業化を推進した結果、電子機器の分野で世界的な供給源となった。	中国は世界最大の人口を抱えており、その豊富な労働力と政府の経済政策によって急速な工業化を成し遂げました。提示された統計値にあるように、2015年時点ではスマートフォンやパソコンなどの多くの工業製品において、世界の生産の大部分を中国が担うようになっています。
問4	答え 1 日本の多くの企業が生産拠点を移転し、現地で製造された製品を日本へ逆輸入する仕組みが整っているため。	中国と日本の輸出入額が極めて大きい背景には、1990年代以降、日本の製造業が安い労働力や広大な市場を求めて中国に工場を相次いで進出させたことがあります。そこで生産された電気機器や衣類などの製品が日本に送られる「逆輸入」の形をとる取引が多く、これが膨大な輸出額につながっています。鉱産資源や穀物の輸出が中心であるアルゼンチンなどの国々とは、貿易の構造が大きく異なります。
問5	答え 4 急速な工業化を支えるために石炭燃料が大量に消費され、その結果として深刻な大気汚染が発生している。	中国の経済発展は、安価なエネルギー源である石炭に強く依存してきました。工場や火力発電所での石炭の大量消費は、有害物質による深刻な大気汚染を引き起こし、酸性雨やPM2.5（微小粒子状物質）などの問題を生じさせています。これは経済成長の影の側面として、現在の中国における重要な社会課題となっています。
問6	答え 3 中国の南側に位置する広大な半島で、メコン川などの大河が流れ、古くから稲作が盛んに行われてきた地域である。	インドシナ半島は東南アジアの大陸部に位置し、メコン川やチャオプラヤ川といった大河の周辺に広がる平野部を利用して稲作が発展してきました。マレーシアの一部が含まれるのは、インドシナ半島からさらに南に伸びるマレー半島であるため混同に注意が必要です。
問7	答え 2 ヒンドゥー教を信仰する人々は、ガンジス川を神聖なものと考え、その流域で儀式的な入浴を行い罪を洗い流すと信じている。	ヒンドゥー教は多神教であり、特定の河川や動物を神聖視する特徴があります。特にガンジス川での沐浴は、現世の罪を浄化する重要な宗教行為とされています。また、牛を神聖な動物として崇めるため、ヒンドゥー教徒は一般的に牛肉を食べません。選択肢にあるメコン川は主に東南アジアを流れる河川であり、インドの主要な宗教文化とは直接の関わりがありません。
問8	答え 2 急速な工業化が進んだことで、製造業に必要な鉄鉱石やエネルギー資源の需要が大幅に増加したため	中華人民共和国は1970年代末からの改革・開放政策以降、急速な経済発展を遂げました。この発展を支えるためには、国内の資源だけでは不足するため、ロシアから天然ガスや石油を、オーストラリアから鉄鉱石や石炭を大量に購入する必要が生じました。その結果、これらの資源国にとって最大の輸出相手国という地位を確立しました。
問9	答え 4 石炭の国内生産量は増加していたが、経済発展による石炭の消費量の伸びが生産量を上回るようになった。	中国は世界最大の石炭産出国であり、生産量自体は年々増加傾向にありました。しかし、それ以上に工業化や都市化によるエネルギー需要が爆発的に増加したため、国内の消費量が生産量を上回る事態となりました。2012年ごろを境にこの傾向が顕著になり、自力で賄える割合（自給率）が100%を割り込んで低下しています。生産量が減ったのではなく、消費量の増加スピードが生産を追い越したという因果関係を理解することが重要です。
問10	答え 2 機械類	タイやマレーシアなどの東南アジア諸国では、1980年代には衣類などの労働集約的な軽工業や、原油・天然ゴムといった一次製品の輸出が中心でした。しかし、その後の急速な工業化にともなって外国企業の工場誘致などが進み、現在では自動車や電子機器を含む「機械類」が輸出の主軸となっています。このように、経済発展とともに輸出の品目が付加価値の高いものへと変化することを、輸出構造の高度化と呼びます。
問11	答え 2 人口の約80パーセントをヒンドゥー教徒が占め、イスラム教徒が約14パーセントでそれに次いでいる	インドの人口構成における宗教別割合は、ヒンドゥー教が約80パーセントと圧倒的に多く、次いでイスラム教が約14パーセントとなっています。仏教はインドを起源とする宗教ですが、現在のインド国内における割合は非常に低く、世界全体の仏教徒の割合（約7パーセント）と比較しても、インド国内で多数派というわけではありません。

- 問1 アラブ首長国連邦（UAE）の経済状況について、2000年代以降の統計では観光客数や観光収入が急増しており、パーム・ジュメイラのような大規模なリゾート開発も行われています。このような産業構造の変化をもたらした、国全体の方針としてふさわしいものはどれですか。（2024年 佐賀県公立入試 類似）
1. 石油生産量の大幅な増額と輸出への集中
 2. 鎖国体制による伝統的な遊牧生活の維持
 3. 製造業を廃止して農業を唯一の輸出産業にすること
 4. 石油依存からの脱却と経済の多角化
- 問2 南アジアの自然環境と農業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 冬にヒマラヤ山脈から海へ向かって吹く季節風が乾燥をもたらし、ガンジス川流域で綿花の栽培が行われる。
 2. 冬にインド洋から陸地へ向かって吹く季節風が乾燥をもたらし、インダス川流域で稲作が行われる。
 3. 夏にヒマラヤ山脈から海へ向かって吹く季節風が雨をもたらし、ガンジス川流域で小麦の栽培が行われる。
 4. 夏にインド洋から陸地へ向かって吹く季節風が雨をもたらし、ガンジス川流域で稲作が行われる。
- 問3 南アジアに位置するインドにおいて、1990年代の経済の自由化以降、情報通信技術（ICT）関連の産業が急速に発展した中心都市はどこですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）
1. ムンバイ
 2. バンガロール
 3. ニューデリー
 4. コルカタ
- 問4 1949年にオランダから独立し、国民の8割以上がイスラム教徒である東南アジアの国について、その首都名と、20世紀後半に顕著になった人口動態の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. ジャカルタ — 第1位都市と第2位都市の人口差が約7倍にまで急拡大した
 2. マニラ — 徹底した家族計画により、都市部の人口増加が停止した
 3. サンパウロ — 複数の大都市に人口が分散し、一極集中が緩和された
 4. ニューヨーク — 計画的な都市開発により、周辺都市へ人口が流出した
- 問5 ユーラシア大陸の東部に位置し、東は太平洋に面する広大な国土を持つ国には、世界文化遺産にも登録されている「万里の長城」があります。この建造物の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 神を祀る神殿として、都市の最も高い丘の上に築かれた
 2. 北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた
 3. 歴代の皇帝の墓として、巨大な石を積み上げて築かれた
 4. キリスト教の布教の拠点として、各地を結ぶ道路沿いに築かれた
- 問6 フィリピンからインドネシアにかけての地域において、海面から急峻な山地がそびえ立ち、すぐにまた海へ沈むような複雑な地形断面が形成されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。（2024年 兵庫県公立入試 類似）
1. 古生代の造山運動によって形成された広大な山地が、沈んで島々になったから
 2. 氷河期に形成された大陸氷河が移動する際に、大地を深く削り取ったから
 3. 広大な熱帯雨林を流れる河川が、長年かけて平坦な土地を浸食したから
 4. 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから
- 問7 私たちの身の回りには、洗剤やシャンプー、またラクトアイスやマーガリンといった食品には、パーム油が原材料として多く使われています。このパーム油の原料となる植物の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. サトウキビ
 2. ココヤシ
 3. トウモロコシ
 4. アブラヤシ
- 問8 ユーラシア大陸の中南部に位置し、インドの北側に連なる世界最高峰の山々を含む高大な山脈の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 沖縄県公立入試 類似）
1. アルプス山脈
 2. アンデス山脈
 3. ロッキー山脈
 4. ヒマラヤ山脈
- 問9 2022年時点の統計において、インドの自動車産業が世界有数の規模になったことを示す具体的な状況として、最も適切なものはどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 1人あたり国内総生産（GDP）が世界最高水準に達したため、販売台数よりも輸出台数において世界1位を記録している。
 2. 人口の減少に伴い国内市場が縮小したため、生産台数よりも輸出台数が圧倒的に多い輸出特化型の産業構造となっている。
 3. 国内の供給体制が発達しているため、国内での生産はほとんど行われていないが、販売台数のみが世界1位となっている。
 4. 約14億人の人口を背景に、自動車の生産台数で世界4位、販売台数で世界3位を記録するほどの巨大な市場に成長している。
- 問10 近年、急速な経済成長を遂げているインドの産業構造に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 島根県公立入試 類似）
1. 石油製品の輸出額が多いのは、国内の広大な砂漠地帯で原油が豊富に採掘されているからである。
 2. かつての宗主国であるイギリスとの経済的結びつきが強く、輸出品の過半数をイギリスが占めている。
 3. 世界最大のダイヤモンド鉱山を保有しており、未加工の原石をそのまま輸出する採掘業が中心である。
 4. 豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。
- 問11 東南アジアに位置し、世界第4位の人口を抱えるインドネシアが、世界有数の米生産国となっている背景として最も適切な説明はどれですか。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
1. タイやベトナムのように、外貨を獲得するために輸出専用の広大な水田開発を国策として進めているため。
 2. 赤道直下の乾燥した気候を利用して、効率的に米を乾燥・貯蔵できる大規模な農場が普及しているため。
 3. 巨大な国内人口を養うための自給的な生産が中心であり、二期作などの集約的な農業が行われているため。
 4. 他のアジア諸国とは異なり、主食を小麦から米へと転換したことで、急速に生産技術が向上したため。
- 問12 中国で長年実施された人口抑制政策の影響を、人口ピラミッドの変化から説明したものと、最も適切な内容を選択してください。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 経済発展に伴い乳児死亡率が低下したため、ピラミッドの底が非常に広がっている
 2. 0歳から14歳の若年層の割合が極端に狭まっており、出生数が抑制されている
 3. 生産年齢人口の割合が拡大し続け、若年層から高齢層までが均等な釣鐘型になっている
 4. 高齢者の割合が他の先進国と比較して極めて低く、ピラミッドの頂点が鋭くなっている
- 問13 世界各地で結成されている地域協力組織のうち、アジア・太平洋地域の国々が参加するAPEC（アジア太平洋経済協力会議）について、その活動の性質や特徴を正しく説明しているものを選びなさい。（2023年 千葉県公立入試 類似）
1. 加盟国間で共通の通貨を導入するとともに、加盟国間の関税を完全に撤廃して強力な経済統合を目指している。
 2. 先進国だけでなく発展途上国も多く参加しており、多様な経済発展段階にある国々が協力して自由な貿易を目指す。
 3. 東南アジアの諸国によって構成され、域内における紛争の解決や経済成長の促進を主目的としている。
 4. 北米の特定の3か国間において、農産物や工業品の関税を撤廃し、投資のルールを定めることを目的としている。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 石油依存からの脱却と経済の多角化	UAEは、かつては輸出の大半を石油が占めていましたが、現在はサービス業や非石油部門の育成に力を入れています。観光業の振興はその代表例であり、経済の基盤を複数の産業に分散させることで、持続可能な成長を目指す「経済の多角化」を推進しています。
問2	答え 4 夏にインド洋から陸地へ向かって吹く季節風が雨をもたらし、ガンジス川流域で稲作が行われる。	南アジアの農業は季節風（モンスーン）に大きく依存しています。夏は海（インド洋）から陸（ヒマラヤ山脈方面）に向かって湿った風が吹くため、ヒマラヤ山脈に近いガンジス川流域では多量の雨が降り、高温多湿を好む米の栽培に適した環境となります。冬は逆に陸から海に向かって乾燥した風が吹くため、降水量は減少します。
問3	答え 2 バンガロール	インド南部にあるバンガロールは、多くのIT企業や研究機関が集積しており、「インドのシリコンバレー」とも呼ばれます。1990年代からの経済自由化を背景に、英語能力や高度な数学教育を受けた優秀な人材を背景として、ソフトウェア開発などのICT産業が大きく成長しました。
問4	答え 1 ジャカルタ — 第1位都市と第2位都市の人口差が約7倍にまで急拡大した	インドネシアはかつてオランダの植民地であり、現在は世界最大のイスラム教徒人口を抱える国です。1950年時点では第1位都市と第2位都市の人口差は100万人以下でしたが、1990年にはその差が約7倍にまで広がり、首都ジャカルタへの圧倒的な人口集中が起こりました。
問5	答え 2 北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた	万里の長城は、中国の北側の国境沿いに建設された大規模な防衛施設です。山々の尾根などに沿って延々と続くこの壁は、外敵の侵入を監視し、防ぐ役割を果たしていました。選択肢にある「皇帝の墓」はエジプトのピラミッドなどの特徴であり、万里の長城は軍事的な防衛ラインとしての性格を持っています。現在残っているものの多くは、明の時代にレンガなどで強固に築かれたものです。
問6	答え 4 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから	東南アジアの島嶼部は環太平洋造山帯の一部であり、複数のプレートがぶつかり合う境界付近に位置しています。このため、火山活動や地震を伴う激しい地殻変動によって標高の高い山地が形成され、それらが海上に顔を出して島々を形作っているため、断面図では急峻な起伏が繰り返されることになります。
問7	答え 4 アブラヤシ	パーム油は熱帯地域で栽培されるアブラヤシの果実から得られる植物油脂です。安価で加工がしやすいため、食品から日用品まで幅広く利用されています。一方で、生産を拡大するために熱帯林が伐採され、農園開発が行われることで、生態系への影響が懸念されています。
問8	答え 4 ヒマラヤ山脈	ユーラシア大陸のインド北方に位置する世界で最も標高が高い山脈です。プレートの衝突によって形成された新期造山帯に属しており、エベレスト（チョモランマ）などの8,000メートル級の山々が連なっています。南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈や、ヨーロッパ中央部のアルプス山脈と混同しないよう位置関係を把握することが重要です。
問9	答え 4 約14億人の人口を背景に、自動車の生産台数で世界4位、販売台数で世界3位を記録するほどの巨大な市場に成長している。	インドは2022年の統計で、自動車の生産台数が世界4位、販売台数が世界3位という、生産・消費の両面で世界トップクラスの規模に達しています。これは、約14億人という膨大な人口と、経済成長に伴う1人あたり国内総生産（GDP）の上昇が組み合わさることで、国内での自動車販売（需要）と生産（供給）が共に急増したことを示しています。
問10	答え 4 豊富な労働力を背景に、ダイヤモンドなどの輸入した原石を加工して輸出する工業が盛んである。	インドの経済成長は、特定の資源に依存するのではなく、高度なITサービスや、豊富な労働力を活用した加工・製造業によって支えられています。ダイヤモンドが輸出品目の上位にあるのは、インド国内で採掘されるからではなく、海外から輸入した原石を研磨・加工して付加価値を高めてから輸出する産業が発達しているためです。
問11	答え 3 巨大な国内人口を養うための自給的な生産が中心であり、二期作などの集約的な農業が行われているため。	インドネシアは世界でも有数の人口を抱えており、主食である米の国内消費が非常に多いため、生産量も必然的に多くなっています。タイやベトナムが輸出に力を入れているのに対し、インドネシアは高い国内需要に応えるために、気候条件を活かした二期作や三期作を行って生産量を確保しているのが特徴です。
問12	答え 2 0歳から14歳の若年層の割合が極端に狭まっており、出生数が抑制されている	一人っ子政策によって長期間にわたり出生数が厳しくコントロールされた結果、統計資料における人口ピラミッドの底部、すなわち0歳から14歳の若年層の幅が極端に狭まる形状となりました。これは人口抑制には成功したものの、急速な少子高齢化を招く要因となり、将来の労働力不足といった新たな社会問題を生み出すことになりました。
問13	答え 2 先進国だけでなく発展途上国も多く参加しており、多様な経済発展段階にある国々が協力して自由な貿易を目指す。	アジア・太平洋地域には、経済発展の度合いが異なる多様な国が存在します。そのため、APECは即座に全ての関税をなくすような厳しい協定ではなく、対話を通じて緩やかに経済協力を進める形をとっています。他の選択肢にあるような共通通貨（EU）や、東南アジア限定（ASEAN）、北米限定（USMCA）の仕組みとは異なる広域的な枠組みです。

- 問1 東南アジアのインドシナ半島に位置するタイでは、人々の生活や文化に特定の宗教が深く関わっており、世界の宗教別人口構成においても重要な割合を占めています。タイにおいて、国民の約9割以上が信仰している最も主要な宗教は何ですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教 2. イスラム教 3. 仏教 4. キリスト教
- 問2 フィリピンからインドネシアにかけての地域において、海面から急峻な山地がそびえ立ち、すぐにまた海へ沈むような複雑な地形断面が形成されている主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 氷河期に形成された大陸氷河が移動する際に、大地を深く削り取ったから 2. 環太平洋造山帯に位置し、プレート運動による火山活動や地殻変動が活発だから 3. 広大な熱帯雨林を流れる河川が、長年かけて平坦な土地を浸食したから 4. 古生代の造山運動によって形成されたなだらかな山地が、沈水して島々になったから
- 問3 日本企業が生産拠点を東南アジア諸国に移転・進出させる主な背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、ある統計資料における平均賃金指数（日本を100とする）では、中国が31.0であるのに対し、インドネシアが13.5、ベトナムが8.5、マレーシアが14.8となっています。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも高く、現地の労働者の購買力が日本を上回っているため 2. 中国の労働力が不足し、東南アジアの方が日本よりも平均賃金が高くなったため 3. 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも低く、より安価な労働力を確保することで生産コストを抑えられるため 4. 東南アジア諸国では日本国内よりも平均賃金が高く、付加価値の高い製品を販売しやすいため
- 問4 APEC（アジア太平洋経済協力）が、加盟している国や地域の間で行っている活動の目的や内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
1. 加盟国間の国境を完全に廃止し、人々の移動を自由化する統合政府を作ること 2. 軍事同盟を締結し、アジア太平洋地域の平和と安全を武力によって維持すること 3. 加盟国間で共通の通貨を導入し、中央銀行による一元的な金融政策を行うこと 4. 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること
- 問5 中国の米の生産と流通に関する説明として、統計的な背景に基づいた正しい記述を次から選びなさい。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 農業の近代化が遅れているため生産量は世界的に低いが、外貨獲得のために無理な輸出を行っている。 2. 生産された米の多くを輸出に回す「世界の食糧庫」としての役割を担っており、世界最大の輸出国である。 3. 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。 4. 広大な土地があるものの米の自給率は低く、消費量の過半数を東南アジアからの輸入に頼っている。
- 問6 ベトナムやインドネシアといった国々とシンガポールを比較した統計において、日本企業の進出数と現地の経済状況の関係性を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. シンガポールのように平均賃金が高い国では、低賃金の国に比べて工場などの進出数が急増している 2. 平均賃金が低い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある 3. 平均賃金が高い国ほど、安価な労働力を求める日本の製造業の進出が活発になる傾向がある 4. 日本企業の進出数は、現地の平均賃金の高さに関わらず天然資源の産出量のみで決定される
- 問7 米の生産量が小麦を大幅に上回り、北東部では茶の栽培も行われているタイの食文化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。 2. トウモロコシを主食としており、粉状に挽いて薄く焼き上げたトルティーヤというパンのような料理が日常的に食べられている。 3. 小麦を主食としており、パスタやピザなどの粉製品が中心で、地中海沿岸の食材を多用する傾向がある。 4. イモ類やライ麦を主食としており、寒冷な気候でも育つ作物を中心に、乳製品を組み合わせた食事が一般的である。
- 問8 1960年代から2020年頃にかけて人口が急激に増加し、十数億人に達したインドでは、爆発的な人口増加に伴う深刻な食料不足を解決するために、農業技術の大きな転換が行われました。この取り組みの内容として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 労働力不足を解消するために、AIやロボット技術を活用したスマート農業を1960年代から導入した。 2. 高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。 3. 自給用の穀物生産から、輸出を目的とした茶や綿花などの商品作物の大規模生産へと切り替えた。 4. 環境保護のために化学肥料や農薬の使用を禁止し、伝統的な有機農業を国全体で推進した。
- 問9 サウジアラビアが位置するアラビア半島の自然環境と気候について、正しい組み合わせはどれですか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. イタリア半島 – 温帯（地中海性気候） 2. インドシナ半島 – 熱帯（熱帯雨林気候） 3. アラビア半島 – 乾燥帯（砂漠気候） 4. スカンジナビア半島 – 亜寒帯（冷帯湿润気候）
- 問10 東南アジアに位置するタイの工業化が進展した背景について、その要因を説明した文として最も適切なものはどれか選んでください。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 18世紀後半に世界で最も早く産業革命を成し遂げ、古くから近代工業の基盤が整っていたため。 2. 広大な国土で採掘される鉄鉱石や石炭などの豊富な鉱産資源を背景に、国内資本のみで重化学工業を成長させたため。 3. ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟し、外国企業の工場を積極的に受け入れる政策をとったため。 4. 沿岸部の都市に「経済特区」を設置し、外国の資本や技術を限定的に導入する政策をとったため。
- 問11 東南アジアの島国であるインドネシアの統計資料において、年平均気温が約27.3℃、年降水量が約2672.3mmという高い数値が示されている場合、この地域の伝統的な生活様式について説明した文として正しいものを選択してください。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. 季節による気温の変化が激しいため、季節ごとに移動しながら生活するテント状の住居が一般的である。 2. 冷涼な気候が続くため、暖房効率を高めるために家全体の気密性を高くしている。 3. 乾燥した気候で水が貴重なため、屋根に傾斜をつけず、雨水を一箇所に集める工夫をしている。 4. 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。
- 問12 東南アジアに位置するある国は、国土面積が約33万平方キロメートルで日本の面積（約38万平方キロメートル）に近く、日本への主要な輸出品目として衣服類が大きな割合を占めているという特徴があります。この国を答えなさい。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. フィリピン 2. インドネシア 3. ベトナム 4. タイ

答え合わせ・解説

問1	答え 3 仏教	タイはインドシナ半島の中央部に位置し、伝統的に仏教（上座部仏教）を厚く信仰している国として知られています。東南アジア諸国連合（ASEAN）の国々の中では、タイやミャンマー、カンボジアなどで仏教が主流である一方、島しょ部のフィリピンではキリスト教、インドネシアやマレーシアではイスラム教が広く信仰されており、地域による宗教の多様性が特徴です。
問2	答え 2 環太平洋造山帯に位置し、プレートの運動による火山活動や地殻変動が活発だから	東南アジアの島嶼部は環太平洋造山帯の一部であり、複数のプレートがぶつかり合う境界付近に位置しています。このため、火山活動や地震を伴う激しい地殻変動によって標高の高い山地が形成され、それらが海上に顔を出して島々を形作っているため、断面図では急峻な起伏が繰り返されることになります。
問3	答え 3 東南アジア諸国の平均賃金が中国よりも低く、より安価な労働力を確保することで生産コストを抑えられるため	経済のグローバル化が進むなか、日本企業は生産コストを削減するために海外へ工場を移転させてきました。かつては中国が主要な進出先でしたが、中国の経済発展に伴い賃金が上昇したため、現在では中国よりもさらに平均賃金が低いベトナムやインドネシアなどの東南アジア諸国が、新たな生産拠点として選ばれる傾向にあります。
問4	答え 4 域内における貿易や投資の自由化を促進し、経済的な連携を強化すること	APECは、加盟している国・地域の多様性を尊重しながら、経済的な結びつきを深めることを目指しています。具体的には、貿易の壁を低くすること（自由化）、通関手続きなどを簡素化すること（円滑化）、そして途上国への技術協力などを通じて、地域全体の経済成長を後押しする活動を行っています。通貨の統合や軍事的な協力は目的として含まれていません。
問5	答え 3 世界生産量の約3割を占める世界最大の生産国であるが、巨大な国内消費のため輸出量は少ない。	2011年のデータによれば、中国の米生産量は約2億トンに達し、世界全体の生産量の約30%を占めています。一方で、同年の世界全体の輸出量約3761万トンに対し、中国の輸出量はわずか49万トンです。これは「生産量は多いが、それ以上に国内で食べる人が多いために輸出に回らない」という、人口大国である中国特有の供給構造を示しています。
問6	答え 2 平均賃金が低い国ほど、生産コストの削減を目的とする日本の製造業が進出しやすい傾向がある	企業の海外進出において、現地の「平均賃金」と「進出企業数」には密接な関係があります。特に、大量の労働力を必要とする製造業にとっては、賃金の低さは国際的な価格競争力を維持するための重要な条件となります。したがって、賃金の高いシンガポールよりも、賃金が抑えられているベトナムやインドネシアの方が、工場を構える日本企業にとって魅力的な進出先となり、進出数の伸びが大きくなります。
問7	答え 1 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。	タイは世界有数の米輸出国でもあり、食生活においても米が中心的な役割を果たしています。代表的な料理である「カオマンガイ（鶏肉の炊き込みご飯）」や、米粉を原料とした麺料理である「パッタイ」などは、現地の農業生産の特色を強く反映した食文化の具体例です。
問8	答え 2 高収量品種への品種改良や化学肥料の大量投入により、単位面積あたりの穀物生産量を飛躍的に増大させた。	インドなどの開発途上国では、急増する人口を支えるための食料確保が大きな課題でした。そこで、小麦や米などの穀物において、病気に強く収穫量の多い品種への改良が進められ、さらに化学肥料や農薬、灌漑設備の整備を組み合わせることで、生産力を大幅に向上させました。この一連の農業技術革新は「緑の革命」と呼ばれます。
問9	答え 3 アラビア半島 - 乾燥帯（砂漠気候）	サウジアラビアが位置するアラビア半島は、北緯20度から30度付近の亜熱帯高圧帯の影響を強く受けるため、降水量が極めて少なく、その大部分が砂漠となっています。このため、人々の生活や産業は、オアシスや沿岸部の都市、および石油資源開発地に集中しています。
問10	答え 3 ASEAN（東南アジア諸国連合）に加盟し、外国企業の工場を積極的に受け入れる政策をとったため。	タイは東南アジア諸国連合（ASEAN）の主要メンバーとして、域内での関税撤廃などの恩恵を背景に、日本をはじめとする外国企業の誘致を積極的に進めました。特に自動車や電子機器の組み立て工場が数多く進出したことで、「アジアのデトロイト」と呼ばれるほどの工業化を成し遂げました。なお、経済特区の設置は中国、近代工業（産業革命）の発祥はイギリス、豊富な鉱産資源による輸出経済はオーストラリアなどの特徴であり、タイの事例とは異なります。
問11	答え 4 高温多湿な気候に適応するため、風通しを重視した高床式の住居が作られてきた。	年平均気温が27度を超え、降水量が非常に多いというデータは、その地域が熱帯の高温多雨な気候であることを示しています。このような地域では、暑さと湿気への対策が生活上の課題となります。インドネシアなどの伝統的な住居に見られる「高床式」は、風通しをよくして体感温度を下げるとともに、地面からの湿気が直接屋内に伝わるのを防ぐ合理的な仕組みです。選択肢にある「冷涼な気候」や「乾燥した気候」は、示された統計データとは矛盾します。
問12	答え 3 ベトナム	ベトナムはインドシナ半島の東側に位置する国で、面積は日本よりわずかに小さい約33万平方キロメートルです。1980年代後半から導入されたドイモイ（刷新）政策により市場経済が導入され、豊富な労働力を背景とした軽工業が発展しました。特に衣服の生産が盛んで、日本にとっても中国に次ぐ重要な衣服の輸入先となっています。

- 問1 タイ、インドネシア、マレーシアなど、東南アジアの国々が加盟している地域協力組織を何といいますか。この組織は地域の経済成長や平和、文化の発展を目的として活動しています。 (2026年 青森県公立入試 類似)
1. 欧州連合 (EU) 2. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 3. 環太平洋パートナーシップ (TPP) 4. アジア太平洋経済協力 (APEC)
- 問2 韓国の輸出に関する統計において、1980年には衣類 (16.3%) やせんい品 (12.2%) といった軽工業製品が上位を占めていましたが、2015年には機械類 (35.2%) や自動車 (12.7%)、船舶、精密機械などが主要な輸出項目となっています。このような輸出品目の変化から読み取れる、韓国の産業の歩みとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
1. 石炭や鉄鉱石などの鉱産資源の輸出を増やし、資源依存型の経済へと転換した。 2. 豊富な労働力を背景に、衣類やせんい製品などの軽工業を国の主力産業として維持した。 3. 重化学工業を発展させ、機械類や自動車などの高度な工業製品へと産業の中心を移した。 4. ハイテク産業が衰退したため、石油製品や船舶などの伝統的な製造業に特化した。
- 問3 中国では降水量の違いによって主に行われる農業の種類が異なります。華北 (中国北部) から東北地方にかけての、降水量が比較的少なく冷涼な地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 内陸部の乾燥地帯において、わずかな水を利用して行われるオアシス農業 2. 南部の広東省などを中心に、温暖な気候を利用して行われる稲の二期作 3. 華北平原を中心に、比較的少ない降水量を活かした小麦などの畑作 4. 長江流域を中心として、温暖で湿潤な気候を活かした稲作
- 問4 中国南部の沿海部において、海外への窓口として経済特区に指定された地域や都市の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. シェンチェン (深セン)、チューハイ (珠海)、スワトウ (汕頭)、アモイ (廈門)、ハイナン (海南) 省 2. ホンコン (香港)、マカオ (門)、台湾 3. ペキン (北京)、シャンハイ (上海)、テンシン (天津)、チョンチン (重慶) 4. チベット自治区、シンチャンウイグル自治区、ナイモンゴル (内モンゴル) 自治区
- 問5 アラブ首長国連邦をはじめとする西アジアの産油国で見られる、石油に依存したモノカルチャー経済から脱却し、経済基盤を広げようとする動きに関連して、ドバイにおける取り組みの説明として正しいものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 広大な砂漠を利用して大規模な露天掘りによる石炭採掘を開始し、重化学工業を中心とした第2次産業への転換を進めている。 2. 伝統的な真珠採集や遊牧を保護するため、海外からの投資を制限し、自給自足に近い第1次産業中心の社会に戻している。 3. 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。 4. 石油の採掘を段階的に廃止し、安価な労働力を生かした衣類や雑貨の製造などの軽工業を国の基幹産業に据えている。
- 問6 アラブ首長国連邦の都市ドバイが、石油の輸送路となる海峡付近という立地を活かして、大規模な港湾施設や空港を整備した主な理由として適切なものはどれですか。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 周辺諸国から輸入した原油を精製し、付加価値を高めてから再びペルシャ湾内へ輸出するため 2. 海水を淡水化する施設を港湾内に集中させ、砂漠地帯の農業用水をすべてまかなうため 3. 石油資源の枯渇に備え、物流や観光などを中心とした石油に依存しない経済構造へ転換するため 4. 内陸部で採掘される鉄鉱石や石炭を輸出するための積み出し港を確保し、重化学工業を振興するため
- 問7 インドの人口統計において、15歳未満の若年層の割合が非常に高く、年齢が上がるにつれて男女ともに割合が減少していくことで、グラフにした際に裾野の広い三角形の形になるものを何と呼びますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 等値線図 2. 人口ピラミッド 3. 階級区分図 4. 人口密度図
- 問8 中国の急速な経済発展に伴って発生している、社会的な課題や環境問題についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 白豪主義と呼ばれる政策の影響で海外からの労働力が不足しており、経済発展が停滞した結果、都市部での排気ガスによる環境負荷は年々減少傾向にある。 2. 工業化や自動車の普及により、PM2.5などの物質による深刻な大気汚染が発生しており、同時に、発展した沿岸部と開発が遅れた内陸部との間の経済格差が大きな問題となっている。 3. 公害対策が法律で厳格に運用されたため、大気汚染はすでに解消されており、現在は内陸部の重化学工業化を進めることで地域間の経済格差もほとんどなくなっている。 4. 経済特区における海外企業の活動が制限されたため、現在は内陸部の農業振興が経済の主軸となっており、環境問題よりも食料自給率の向上が最優先課題となっている。
- 問9 世界の自動車生産の推移に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. インドは21世紀に入り急速に成長し、2015年以降は中国の生産台数を上回って世界最大となった。 2. 21世紀の自動車生産において、中国がアメリカ合衆国を生産台数で上回った事実はまだない。 3. 中国は2000年代後半にアメリカ合衆国の生産台数を追い抜き、その後も2500万台を超える規模まで成長した。 4. アメリカ合衆国の自動車生産台数は、2000年から現在に至るまで常に世界第1位を維持している。
- 問10 東南アジアの島国であるフィリピンでは、国民の約8割から9割がキリスト教 (カトリック) を信仰しており、周辺のイスラム教や仏教を信仰する国々とは異なる特徴を持っています。フィリピンでこのようにキリスト教が広く普及した歴史的な背景として、16世紀にこの地域を植民地として支配し、布教とともに貿易の拠点を置いた国はどこですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. エジプト 2. アメリカ合衆国 3. インド 4. スペイン
- 問11 東南アジアの国々の中で、かつてスペインによる植民地支配を受けた歴史的背景から、国民の多くがカトリックを中心とするキリスト教を信仰している国はどこか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. タイ 2. フィリピン 3. ベトナム 4. インドネシア
- 問12 東南アジアの湖周辺などで見られる、水上に家を建てる「水上集落」という住居形式について、その背景となる気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が少なく、貴重な水源である湖水を汚さないように管理するため。 2. 大陸からの乾いた風が吹き込む乾季に、砂漠化による砂の浸入を防ぐため。 3. 石油開発の影響で沿岸部の土地が不足し、居住空間を湖の上に広げる必要があったため。 4. 海洋からの湿った季節風が吹き込む雨季に、湖や河川の水位が大幅に上昇するため。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 東南アジア諸国連合（ASEAN）	10か国が加盟するこの組織は、1967年に設立されました。冷戦終結後、ベトナムやミャンマーなどが加わり、現在の規模になりました。東南アジア諸国連合は、域内の経済的な結びつきを強めるだけでなく、平和の維持や社会・文化面での協力も重要な目的としています。
問2	答え 3 重化学工業を発展させ、機械類や自動車などの高度な工業製品へと産業の中心を移した。	韓国では1980年代以降、経済の発展に伴って産業構造の高度化が進みました。かつては衣類などの労働集約的な軽工業が中心でしたが、政府の主導により、より高い技術力と設備を必要とする重化学工業へと重点が移りました。その結果、2015年の統計に見られるように、輸出額は1980年の約181億ドルから約5267億ドルへと激増し、機械類や自動車、精密機械などが輸出の大部分を占めるようになっていきます。
問3	答え 3 華北平原を中心に、比較的少ない降水量を活かした小麦などの畑作	中国では、一般に年降水量約1,000mmのライン（チンリン山脈・ホワイ川線）を境に、北と南で農業の形態が大きく分かれます。華北などの北部地域は南部と比較して降水量が少なく、広大な平原を利用した畑作による小麦の生産が非常に盛んです。一方、長江流域より南の地域は温暖で湿潤なため、古くから稲作が中心となっています。
問4	答え 1 シェンチェン（深セン）、チューハイ（珠海）、スフトウ（汕頭）、アモイ（廈門）、ハイナン（海南）省	経済特区は、地理的に東南アジアに近く、海外との交流や海上輸送に便利な中国南部の沿海部に集中して設置されました。具体的にはシェンチェン、チューハイ、スフトウ、アモイの4都市に、後に省全体が指定されたハイナン島を加えた地域が、初期の経済成長を牽引する拠点となりました。
問5	答え 3 豊富な石油マネーを元手に、世界的なハブ空港の整備や高級リゾートの建設を推進し、第3次産業の比率を高めている。	ドバイは、中東における物流や観光、金融の拠点となることを目指しています。石油だけに頼るのではなく、世界中からヒト・モノ・カネが集まる仕組みを作るため、観光業や航空産業、商業といった第3次産業に力を入れています。これは、特定の資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」の弱点を克服するための重要な戦略です。
問6	答え 3 石油資源の枯渇に備え、物流や観光などを中心とした石油に依存しない経済構造へ転換するため	ドバイは、将来的な石油資源の枯渇を見据え、「石油依存経済からの脱却」を国策として掲げています。ペルシャ湾の入り口という地理的優位性を利用して、世界的な物流のハブ（拠点）となる港湾を整備し、中継貿易や観光、金融などの産業を育成することで、持続可能な経済発展を目指しています。2018年の統計では、コンテナ取扱量が世界第10位に達するなど、その成果が表れています。
問7	答え 2 人口ピラミッド	男女別・年齢別の人口構成をグラフ化したものを人口ピラミッドと呼びます。インドのような発展途上国では、出生率が高いために若年層の割合が大きくなり、グラフの形が底辺の長い三角形（富士山型）になるのが特徴です。これに対し、先進国では少子高齢化の影響で、中央部が膨らんだ釣鐘型や、若年層が極端に少ないつぼ型へと変化する傾向があります。
問8	答え 2 工業化や自動車の普及により、PM2.5などの物質による深刻な大気汚染が発生しており、同時に、発展した沿岸部と開発が遅れた内陸部との間の経済格差が大きな問題となっている。	中国では石炭燃料の利用や自動車の急増により、微小粒子状物質（PM2.5）などによる「大気汚染」が深刻化し、周辺諸国への影響も懸念されています。また、経済発展の恩恵を強く受けた沿岸部の都市生活者と、依然として貧しい農村部が多い内陸部との間で「経済格差」が拡大しており、これを是正するために「西部大開発」などの政策が進められています。
問9	答え 3 中国は2000年代後半にアメリカ合衆国の生産台数を追い抜き、その後も2500万台を超える規模まで成長した。	21世紀の中国は「世界の工場」として急速な経済成長を遂げ、自動車産業においても大きな飛躍を見せました。2008年以降の統計においてアメリカ合衆国を追い抜いたことが示されており、2015年以降は他の国を大きく引き離す圧倒的な生産台数を記録しています。
問10	答え 4 スペイン	フィリピンは16世紀、世界周航の途上にあったマゼランの来航をきっかけにスペインの植民地となりました。当時のスペインはキリスト教の布教を植民地政策の柱の一つとしていたため、長い統治期間を通じてフィリピンにキリスト教が定着しました。なお、19世紀末からはアメリカ合衆国が統治しますが、宗教的な基礎を築いたのはスペインです。
問11	答え 2 フィリピン	16世紀後半からスペインの植民地支配を受けた影響で、国民の多くがカトリックを信仰するようになりました。インドネシアは世界最大のイスラム人口を抱える国であり、タイは植民地にならず独立を維持した仏教国であるため、宗教分布の形成過程が異なります。
問12	答え 4 海洋からの湿った季節風が吹き込む雨季に、湖や河川の水位が大幅に上昇するため。	東南アジアの気候は季節風（モンスーン）の影響を強く受けており、海洋から湿った空気が運ばれる雨季には、湖や河川の水位が劇的に上昇します。水上集落は、こうした水位の変化に対応し、浸水を避けながら水辺で生活を営むための合理的な工夫として形成されました。一方、大陸から乾いた風が吹く時期は乾季となります。